

瀬戸内海的环境保全に関する衛生団体合同研修会を開催

瀬戸内海環境保全地区組織会議が主催する「瀬戸内海的环境保全に関する衛生団体合同研修会」は、11月19日に福岡県行橋市で新型コロナウイルス感染対策を行い、開催しました。瀬戸内海の沿岸県市で活動する住民団体のリーダー約120人が参加し、福岡県環境部長 小磯真一様(代理:今任課長補佐)、行橋市長 田中 純様からご祝辞をいただき、活動功労者(団体)表彰、講演、体験交流・意見交流として活動の事例発表を行いました。

当日は、活動功労者(団体)表彰で、福岡県、広島県、北九州市の5団体へ感謝状の贈呈を行い、広島県からは廿日市市大野地域で長年海岸清掃を行っている『廿日市市大野公衆衛

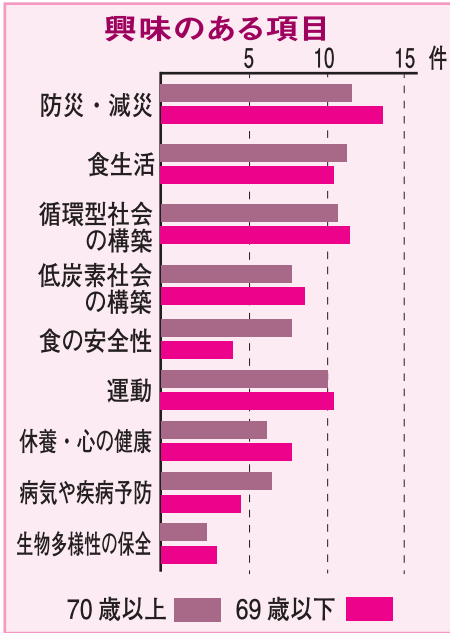
生推進協議会』が表彰されました。

講演は、九州大学大学院工学研究院の清野 聡子先生が「海ごみ問題を地域の水辺から解決する多様な主体による試み」と題し、海ごみ問題の現状、地域の団体の活動など、若い人たちがこの問題に取り組んでいる様子を分かりやすくお話してくださいました。

体験交流・意見交流では、表彰を受けた5団体のうち3団体と当協会が日ごろの活動について発表を行いました。



活動の発表をする廿日市市大野公衆衛



興味のある項目について、上位からは、「防災・減災」「食生活」「循環型社会の構築」となり、69歳以下は「防災・減災」が最も興味のある項目となっていました。

情報紙「環境と健康」は、公衛協の実践活動に係る事業実績を迅速に集積し、お互いの情報や、先進事例を共有して団体間連携を強化し、コミュニティ活動の活性化を目的に発行、今年度は、令和3年11月1日から12月末日にかけて、アンケート調査を実施し、

情報紙「環境と健康」読者アンケート結果

130人から回答が寄せられました。紙面サイズは、タブロイド判が65%と圧倒的に支持されました。ところが、69歳以下(全回答者の約35%)に限ると、47%がA4判(冊子タイプ)もしくはPDFファイル(デジタル配信)を希望していました。

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、未来のために、いま選ぼう。

「COOL CHOICE」とは、CO₂などの温室効果ガスの排出削減のために、脱炭素社会づくりに貢献する「製品への買換え」、「サービス利用」、「ライフスタイルの選択」など地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」をしようという取り組みです。

おうち時間が増えて、家庭内でのエネルギー消費は同じ期間の前年と比べて増加しています。「食費や光熱費が増えた」と感じている人は多いのではないのでしょうか。今使用している家電の見直し、電気代節約の対策として効果的です!

「COOL CHOICE5つ星家電買換えキャンペーン」は、「省エネルギーラベルの星の数の多い家電への買換え」や「LED照明への買換え」を呼びかける活動です。

- ◎冷蔵庫、エアコンは10年を目安に星の数の多いものを買換えよう!
- ◎照明はLEDに交換しよう!

質問はこちらから

スマートフォンやタブレット端末で、左のQRコードを読み取り、COOL CHOICE ホームページ内の登録画面で賛同をお願いします。(脱温暖化センターひろしま・環境省)

旧 → 新

省エネ性能 4.2

112~249kWh/年

6,720円

①多段階評価点
②省エネルギーラベル
③年間エネルギー使用料金目安

歳以下が顕著に興味を示したのは、「防災・減災」について「休養・心の健康」について「生物多様性の保全」について「低炭素社会の構築」についてでした。逆に、「食の安全性」「食生活」「病気や疾病予防」については、関心の低さが顕著でした。

今回の調査結果をしっかりと分析し、当面、そしてこれからの情報紙について検討してまいります。

聴力診断用車両を導入

12月24日、聴力検査用の車両が納車されました。巡回健診の際、聴力検査に適した部屋が確保できない場合、組み立て式の防音BOXを組み合わせ、マイクロボスの車中に防音BOXを設置して、聴力検査を行いました。この聴力検査車は、普通車の車体に防音BOXを据え付けたもので、機動性がよく、冷暖房もよく効くので、受診者様はもちろンスタッフにもやさしい検査ができるようになりました。引き続き、快適な受診環境づくりに取り組んでまいります。

令和3年度 地区衛生組織活動資金募集



環境・健康募金(旧 健康感謝募金)は、昭和35年から実施し、令和3年度で62回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として地域社会に役立てられています。

環境・健康募金 総額(円)

48,713,733円

(令和3年度年間実績)

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
府中町	1,251,200	94.2
海田町	2,224,501	96.4
熊野町	1,436,350	101.8
坂町	345,700	103.0
江田島市	1,694,700	96.6
竹原市	1,505,700	96.9
大崎上島町	244,200	78.5
大竹市	2,401,660	98.8
廿日市市	3,005,060	90.4
廿日市市大野	2,580,500	100.0
廿日市市佐伯	355,100	99.3
廿日市市吉和	43,200	78.2
廿日市市宮島	160,100	89.4
安芸太田町	684,000	97.7

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
北広島町	1,038,100	101.0
安芸高田市	2,013,170	100.4
東広島市	4,418,142	114.1
三原市	1,496,382	102.1
世羅町	663,580	65.0
尾道市	3,893,900	91.4
福山市	7,831,050	91.9
府中市	1,041,480	98.6
神石高原町	0	0
三次市	2,183,000	95.9
庄原市	2,352,695	101.3
呉市	3,780,650	98.3
その他	69,613	104.9
合計	48,713,733	96.1

環境協に配分された募金は、以下のような事業に活用しています。◆全県共通事業重点メニュー◆

【「がん検診へ行こう!」キャンペーン事業】
健康寿命の延伸に係る健康づくり事業の一環として、「がん検診の受診率向上」を目的に公衆衛生推進協議会が中心となり、全県的に受診勧奨キャンペーンを展開しています。

ポケットティッシュやタオル、チラシを配布して、住民へ受診勧奨を行います。



市町別一覧表

※この表は、令和4年1月末までに市町公衛協事務局から募金委員会に振込みのあった実績額を記載しています。